



“パネルディスカッションと食事会”

私達にできる社会貢献とは

～草の根のボランティア活動～

1993年から現在まで、「垣見一雅氏」(OK・BAJI)はネパール国・パルパ県・ドリマラ村で村民と同じ小さな居を構え、東パルパ郡の各村々を歩いて貧困に喘ぐ人々の様々な相談に乗り、村人達が自立できるように手助けをしてきました。私達「世界の子どもたちを守る会」も1998年から今日まで、垣見氏の活動に対して、多くの方々からの暖かいお気持ちをヘルスポストの建設・小中学校の建設と補修・机と椅子・医療基金・スポーツ基金・垣見奨学金基金・母子家庭支援基金の設立等、幅広い分野で継続的に支援させていただいております。

垣見さんが年に一度帰国される際に開催しております「垣見さんからの話を聞く会」は、今回、特別に小澤富夫教授・伊藤道雄教授をお招きし、表題の『私達にできる社会貢献とは』と題しパネルディスカッションを開催いたします。

現地の為に、現地の立場になって、これまでどのような活動が行われ、その結果どのような変化が起きてきているのか。垣見さんの活動を通して様々なお話をいただき、これからの時代に相応しい真のボランティアについて、御一緒に考える良い機会になればと思いますので、是非奮ってご参加ください。

言記

- 【開催日】 2010年6月17日(木)
- 【開催場所】 ザ・プリンスパークタワー東京 1階 『メロディーライン』
東京都港区芝公園 4-8-1 03-5400-1111
- 【開催時間】 18時30分～20時30分 (受付開始18時)
- 【参加費】 1万円(食事代・支援金を含む)
- 【申込締切日】 2010年6月10日(木)(定員になり次第締め切りとなります)

尚、御来場いただけない場合でも、垣見一雅氏の活動にご賛同いただける方は、一口¥1,000.-より(何口でも可)の支援金だけでもご協力いただけますようお願い申し上げます。

2010年5月1日

主催 世界の子どもたちを守る会
<http://www.crs-j.org>
協賛 NPO 法人国連支援交流協会

※コーディネーター：古屋文隆(国際ロータリー第2750地区山の手東グループグループ幹事)

上記に関するお問合せ・お申し込みは下記までお願いいたします。

【世界の子どもたちを守る会 事務局】

TEL・FAX 042-394-2071 E-mail: relief@crs-j.org



世界の子供たちを守る会
CHILDREN
RELIEF
SOCIETY

パネルディスカッション パネラーのご紹介

垣見 一雅 氏 (OK BAJ)

1939年、東京生まれ。元順心女子学園英語教師。
或るきっかけからネパールの山奥の村民たちの極貧状況に接し、1993年に教職を辞し、ネパールの村人と同じ生活をしながら今日まで、東パルパ地方22村を中心に、現地のローカルNGOとも協力しながら、食料・水・衣類・学校の建設及び補修・机と椅子・文具・奨学金・医療基金・スポーツ等あらゆる分野の支援活動の、日本とのパイプ役として活動し続けている。
毎年6・7月は日本に滞在をし、支援協力者に現地の報告・講演を行う。

小澤 富夫 教授

1934年、山口県生まれ。哲学博士。
学習院大学講師を経て、玉川学園女子短期大学教授・学部長を歴任し平成10年退職。30年にわたって、ネパールのダンプス、カンドゥルン村での現場にて継続的・長期的な教育事業を行い500名以上の学生をネパールに連れて行った。
ネパール最初の私立大学であるカトマンズ大学の設立に中心的に関わった。

伊藤 道雄 教授

1945年、三重県生まれ。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授。
1987年にNGO活動推進センター(現在は国際協力NGOセンター)設立。
2005年アジアコミュニティーセンター21を設立し、代表理事に就任。
2009年「21世紀を担うNGO起業家」の支援を目的に開講された人材育成塾として、アジアNGOリーダー塾を開校。
貧困層が最も多いといわれるアジアで、30年前から駆けずり回ってきた支援の専門家。